

資料 1. 震災直後初動メモ

文化庁文化財部美術学芸課

本メモは、平成 23 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震が発生して以降、4 月 15 日に救援委員会が立ち上がり、4 月 20 日に本格的なレスキュー活動が開始されるまでの文化庁等の動きを、主に美術学芸課の記録をもとに整理したものである。

3 月 11 日（金）

- 14 時 46 分 東北地方太平洋沖地震発生 (M9.0)
- ・業務継続の確認
 - ・国庫補助修理事業施工業者等へ安否確認（メール）
 - ・関係博物館施設等へ安否確認、情報収集連絡（メール）
 - ・東京国立博物館内文化庁分室収蔵庫（国有品及び新指定文化財候補作品）の状態確認
 - ・『阪神・淡路大震災文部省関係対策記録集』の情報共有（文部科学省・文化庁全職員にメールにて展開）

3 月 12 日（土）

- 3 時 59 分 長野県北部地震発生 (M6.7)
- ・指定文化財公開博物館等へ安否確認（メール）
 - ・現地の被害状況等に関する情報収集（テレビ報道、インターネット、ツイッター等）
 - ・新潟県津南町教育委員会から被害状況に関する連絡あり
 - ・茨城県・徳川ミュージアムの被害状況に関する情報あり

3 月 13 日（日）

- ・北海道、東北、関東地方の指定文化財等の所在地リスト打ち出し
- ・宮城県・仙台市博物館から被害状況に関する連絡あり

3 月 14 日（月）

- ・美術学芸課緊急課内会議（指示、検討事項）
 - ：指定文化財所在地情報の把握
 - ：各部門ごとに指定文化財等の安否確認
 - ：被災文化財の緊急保管場所確保の方策
 - ：緊急対応策に関するノウハウの公表方法
 - ：関係機関等との連携体制
 - ：博物館施設等への支援策
 - ：有効に使える補助事業費目の検討
 - ：文化財部内他課との連絡調整
- ・東京国立博物館田良島哲調査研究課長（阪神淡路大震災時

の文化庁担当者）からレクを受ける

- ・宮城県教育庁より被害状況に関する第一報あり
- ・宮城県教育庁に対し現地での要望やレスキュー事業の枠組み等に関して打診（メール）
- ・東京文化財研究所石崎武志保存修復科学センター長へ協議希望の連絡（メール）
- ・新指定答申時の作品陳列に関する検討（陳列中止）
- ・都内の被災文化財（重文・彫刻）の現地確認
- ・被害想定範囲を拡大し、長野、新潟、山梨各県の指定文化財等所在地リストを追加作成・配布

3 月 15 日（火）

- ・文化財保護調整会議

3 月 16 日（水）

- ・文化財レスキュー事業のスキーム図素案を作成
- ・文化財レスキュー事業の実施要項の素案を作成

3 月 17 日（木）

- ・宮城県教育庁に防災ウィールのテキストを送付（メール）
- ・歴史資料ネットワーク奥村弘代表（神戸大学教授）から連絡あり。文化庁によるレスキュー事業の進捗に関する問い合わせと要望
- ・東京文化財研究所で阪神淡路大震災時の関連資料類の閲覧
- ・美術学芸課技官会議（各部門の被害状況に関する情報共有）
- ・文化財保護調整会議
- ・伝統文化課と協議（文化財部内調整）
 - ：美術学芸課作成のレスキュー事業スキーム図を提示
- ・宮城県教育庁より石巻文化センターの被害状況の詳細が伝えられる
- ・伝統文化課で、文化庁 HP に掲出する被災地向け情報について精査

3 月 18 日（金）

- ・全国美術館会議から会員館の被災状況（3 月 16 日現在）に関し情報提供を受ける
- ・全国美術館会議村上博哉事務局長（国立西洋美術館学芸課長）から気仙沼市リアスアーク美術館の被害状況の詳細が伝えられる
- ・宮城県教育庁から具体的な課題・要望が届けられる
 - 1) 被害状況を確認するための文化財に関する専門家の不足
 - 2) 支援活動に必要な予算措置の状況
 - 3) 被災文化財に対する洗浄や保存処理等の必要性
 - 4) 被災文化財の仮収蔵場所の確保の困難性
 - 5) 道案内等、現地コーディネイターの不足

-
- 6) 文化庁からの公式文書の必要性
 - ・宮城県教育庁に対し、文化庁がイメージしているレスキュー事業のスキームを説明
- 3月22日(火)
- ・美術学芸課課内会議
 - ・九州国立博物館三輪嘉六館長(阪神淡路大震災時の美術工芸課長)からレクを受ける
 - ・部議・庁議
 - ・文化財保護調整会議
 - ・伝統文化課で、各都道府県教委に調査官の派遣要請の有無を確認する書式を作成
- 3月23日(水)
- ・文化財保護・芸術研究助成財団に助成金及び義援金の受け皿に関する相談
 - ・東京文化財研究所(石崎武志保存修復科学センター長)にレスキュー事業に関する相談
 - ・山形県教育庁にレスキュー事業のスキームを説明、参考情報を送付(メール)
 - ・宮城歴史資料保全ネットワーク作成のチラシ「古文書を棄てないで」の文化庁HPリンクの了承を得る
 - ・東北大学東北アジア研究センター平川新教授の研究室に、宮城県現地本部の設置を打診
 - ：同研究室も被災し、本部設置は困難である旨の返答
- 3月24日(木)
- ・神戸市博物館に調査官派遣。阪神淡路大震災時のレスキュー事業に関する資料調査
 - ・全国美術館会議作成「緊急調査・応急処置用資材リスト」の文化庁HP掲載について依頼
 - ・宮城県教委へ、仙台市博物館での現地本部設置に関して打診を依頼
 - ・部議・庁議・文化財保護調整会議
- 3月25日(金)
- ・東京文化財研究所三浦定俊名誉研究員(文化財虫害研究所理事長)から阪神淡路大震災時に関するレクを受ける
 - ・「緊急調査・応急処置用資材リスト」、「文化財防災ウィール」の情報を文化庁HPに掲載
- 3月28日(月)
- ・美術学芸課課内会議
 - ・部議・庁議・保護調整会議
 - ・文化財レスキュー事業実施要項に関する文化庁幹部レク
- ・文化庁HPに地震関連情報のページ開設
- 3月29日(火)
- ・文化財レスキュー事業に係る政務三役への説明
 - ・文化財保護・芸術研究助成財団と協議
 - ：財団の新年度事業計画の一部変更に関して相談
 - ・文化財部内で寄附金に関する協議
 - ・群馬県及び埼玉県の被災文化財(重文・考古資料)の現地確認。
- 3月30日(水)
- ・文化庁長官及び美術学芸課長から文化財保護・芸術研究助成財団宮田亮平理事長へ協力依頼
 - ・国立文化財機構・国立美術館・国立科学博物館と協議
 - ・東京文化財研究所と協議
 - ・文化財保護調整会議
 - ・文化財レスキュー事業実施要項制定(次長決定)
 - ・文化財美術関係10団体及び各都道府県教委に対し、文化財レスキュー事業実施への協力依頼を次長名で発出
- 3月31日(木)
- ・東京文化財研究所増田勝彦名誉研究員(昭和女子大教授・文化財保存修復学会理事)から阪神淡路大震災時に関するレクを受ける
 - ・文化財レスキュー事業実施の報道発表
 - ・文化財保護・芸術研究助成財団による寄附金受付口座の開設
- 4月1日(金)
- ・文部科学省HPツイッターへ文化財レスキュー事業の情報発信
- 4月2日(土)
- ・文化庁として被災現地(宮城県)入りを決定。東京文化財研究所に同行を打診。
- 4月4日(月)
- ・美術学芸課課内会議
 - ・文化財部における地震対応状況の定例説明会
 - ・部議・庁議・文化財保護調整会議
 - ・近畿日本ツーリスト来庁(現地派遣宿泊等のアレンジ協力の申し出)
 - ・井上昌之日本経済新聞社文化事業局長来庁(ナショナルトラストからの協力申し出)
- 4月5日(火)

-
- ・文部科学省に東北地方太平洋沖地震災害復旧・復興対策本部を設置
 - ・調査官を宮城県へ派遣（東京文化財研究所石崎武志副所長と。4月7日まで。）

4月6日（水）

- ・文化庁長官メッセージを文化庁HPへ掲載
- ・文化庁文化財部所管法人等への協力依頼状送付
- ・宮城県小林伸一教育長を表敬
- ・宮城県内における文化財被害の現状確認及び現地本部設置等に係る協議（於宮城県教育庁：宮城県教育庁・東北歴史博物館・仙台市教育委員会・仙台市博物館）
- ・地元関係機関・団体と協議（於仙台市博物館：宮城県教育庁・東北歴史博物館・仙台市教育委員会・仙台市博物館・宮城歴史資料保全ネットワーク・宮城県美術館・東北大学関係者等）

4月7日（木）

- ・石巻市内視察
- ・福島県教育庁及び岩手県教育庁と電話連絡。文化財レスキュー要請の有無を確認
- ・宮城県沖を震源とする余震発生（M7.2）
- ・宮城県教育庁に余震の被害状況に関して打診（メール）

4月8日（金）

- ・美術学芸課臨時課内会議（宮城県視察報告）

4月9日（土）

- ・緊急四者協（歴史学研究会・歴史科学協議会・歴史教育者協議会・日本史研究会）に参加（於歴史学研究会事務所：レスキュー事業に関して説明）

4月10日（日）

- ・全国美術館会議緊急会議に出席、レスキュー事業に関して説明

4月11日（月）

- ・奈良文化財研究所と協議
- ・全国美術館会議事務局（国立西洋美術館）と協議
- ・日本文化財科学会緊急役員会に出席、レスキュー事業に関して説明
- ・東京文化財研究所及び国立文化財機構本部と協議
- ・福島県浜通りを震源とする余震発生（M7.0）
- ・調査官を宮城県に派遣（4月14日まで）
- ・文化財部における地震対応状況の定例説明会

- ・部議・庁議・文化財保護調整会議

4月12日（火）

- ・宮城県現地本部設置に関する協議（於仙台市博物館）
- ・内田洋行より段ボール箱6000箱支援（仙台市博物館へ）
- ・東北大学東洋・日本美術史研究室と協議
- ・東北大学東北アジア研究センター平川新教授研究室と協議
- ・日本通運・ヤマト運輸に対して協力依頼
- ・文化財保護・芸術研究助成財団と協議

4月13日（水）

- ・南三陸町方面現地視察
- ・歌津魚竜館レスキュー活動
- ・宮城県で活用可能な車輛の長期確保を検討
- ・東京文化財研究所と協議
- ・文化財保護・芸術研究助成財団と協議

4月14日（木）

- ・宮城県現地本部設営の準備（於仙台市博物館）
- ・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館平川南館長、小島道裕博物館資源センター長と協議
- ・人間文化研究機構への協力依頼発出

4月15日（金）

- ・文化庁長官メッセージ英語版の発信
- ・国立国会図書館との協議
- ・東京文化財研究所と協議
- ・第1回被災文化財等救援委員会開催（於東京文化財研究所）

4月18日（月）

- ・美術学芸課課内会議
- ・調査官を宮城県に派遣（以降、当面の間常駐体制）
- ・文化財部における地震対応状況の定例説明会
- ・部議・庁議・文化財保護調整会議

4月19日（火）

- ・宮城県栗原方面予備調査（宮城歴史資料保全ネットワークに同行）
- ・宮城県現地本部で協議（於仙台市博物館）

4月20日（水）

- ・石巻文化センターでのレスキュー活動開始